



高田河川国道事務所
工務第二課 工務係長

高橋 正弘

平成18年度入省(技術)

入省
12年目

【入省を決めた理由】

高専4年生の時、新潟県中越地震を長岡にて経験し、被災した校舎やグラウンドの復旧作業、中越地区全体が復興していく様子を間近に見ることができ、土木の道への興味が一層膨らみました。就職活動では複数受験しましたが、国土交通省ならではの大規模かつスピーディな事業に魅力を感じ、入省を決めました。

【業務内容】

道路改築事業の設計、協議、工事発注、予算管理等の業務を行っています。一番現場に身近な部署であり、現場の進捗状況確認はもちろん、施工者・設計者との打ち合わせや調整会議等も多いことから、技術力も向上していきます。

【仕事の魅力】

道路整備の最大の魅力は「地図に載る仕事」と自分は思っています。担当工事が日々施工されていく様子を確認でき、更には開通式ののち、一般に供用される際はとても感動します。また、地域の方々から感謝・激励いただいた時こそ、道路整備へのやりがいが一番感じます。

【職場の雰囲気】

私たちの仕事は組織で行っています。仕事を進めるためには自分だけでは打開できない懸案も多く発生します。とても上司や同僚に相談し易い雰囲気であり、懸案の解決をスムーズに行うことができます。

わたしの必需品

【名札&ペン3本】常に名札にペン3本(シャープペン、三色ボールペン、マーカーペン)を下げ、すぐにメモをとれるようにしています。



【野帳】雨に濡れても丈夫な防水紙で作られています。現場でのメモには最適。



わたしの1日

- 8:15 **出勤**
家庭での私の当番(ゴミ出し)とともに宿舎から出勤
- 8:30 **仕事開始**
スケジュール&メールのチェックを行い仕事開始
- 10:00 **工事進捗確認**
発注した工事の進捗状況を確認。技術力向上のために、不明な点は積極的に施工者へ質問
- 12:00 **昼食**
同僚と近くのそば屋へ
- 13:30 **工事打合せ**
施工者と工事懸案の調整。図面や工程表を確認し、懸案の解決方法を打合せ
- 15:30 **積算照査**
部下が担当している工事積算のダブルチェック。ヒューマンエラー(単純ミス)を消すべし
- 17:30 **退庁**
当日の進捗状況を踏まえ、明日の業務の優先順位を計画。たまの残業と、たまの飲み会



わたしの1週間

- 月** 先週の進捗確認
今週のスケジュール確認
- 火** 金曜日の会議に向けた資料作成
- 水** 受注者との打合せ(工事工程調整)
- 木** 工事進捗状況確認(現場)
- 金** 事務所内全体での道路事業マネジメント会議
- 土** 家族で趣味のキャンプへ
- 日**



先輩なう!

地域のための仕事ができる誇り

新潟国道事務所 管理第二課 島津 美砂子 さん

< 島津 美砂子 >さん

長岡工業高等専門学校 平成22年度卒業
新潟国道事務所 管理第二課

【勤務先での近況を教えてください】

新潟国道事務所が管理する国道の維持管理を主とする業務を行っています。中でも、橋梁の耐震補強工事や災害復旧工事、防災点検業務などの発注業務をメインに行っています。

【この職業を選んだ理由は?】

学生時代は水環境に関する研究を行っており、建設業にはあまり関心がありませんでしたが、就職活動や講義を通して生活と密接に関係する建設業に興味を持ちました。なかでも計画から施工、供用、その後の管理と、事業の一連に渡りに携わることができる職業を選びました。また、北陸地方整備局では、様々な分野で広域的な範囲での事業を行っていることや大規模な事業が多いことに魅力を感じました。

【この仕事の「やりがい」「楽しさ」「誇り」は何ですか?】

自分が携わった工事が完成し、その成果を地元の方に評価して頂いている話を聞くとその地域のための仕事ができているとことを実感できます。様々な現場がありますが、その箇所各々の施工条件や地域特性を考慮し工事を発注する必要があるため、様々な施工方法や地域特性を知り、知識が広がり、楽しいですしやりがいがあります。そしてそれが、地域の方々のためになっていると思うととても誇らしいです。また道路を管理する立場なので、災害対応等もありますが、その際には早期復旧に向けて、知識や対応力が問われるため、とても大変ですが職員や協力業者で一丸となり対応するため、復旧した際の達成感はとても大きいです。

【オフタイムはどう過ごしていますか?】

休日は、車の運転が好きなので気分転換を兼ねてドライブしています。実際に道路利用者の立場で道路について考えることができるので一石二鳥だと思います。連休の際には遠出をしますが、知らない道を運転するのは楽しいですし、他の管理者の道路の管理実態を見ることができるので勉強にもなります。



構造物点検の様子



職場内での様子

【将来の目標や夢はありますか?】

日々勉強することが多いことから、これからもっと様々なことを経験し、知識や技術を高め成長したいです。そして内部の職員だけでなく、施工業者からも信頼されるような人間になりたいです。

【後輩達へ一言】

仕事なので楽しいことばかりではありませんが、やりがいはとても大きく、他のどの仕事にも負けないと思います。人とのつながりも多く、様々な面で成長できる仕事だと思います。



河川部 河川計画課
調査第二係

浅野 未来

※長岡高専 環境都市工学科卒

災害現場の最前線で

災害が起こってしまったときに、人の役に立てる仕事がしたい。そう考えて入省した私が、TEC-FORCE隊員に任命され、初めて派遣されたのは、平成26年8月の広島豪雨災害の土砂災害現場でした。

発災の翌日には現地へ駆けつけ、被災状況調査の任に就きました。この調査の結果は、二次災害の防止対策や、警戒避難、応急的な対応への活用が図られるものです。復旧への足掛かり、最初の一步となる仕事であり、責任の重さを感じると同時に大きなやりがいを感じました。

溪流を巡って調査を進める中では、災害の爪痕が生々しい場面も多く目にします。連日の現地調査と調査結果のとりまとめでへとへとになることもありますが、被災した家や、土に汚された家財道具を片付ける被災者の方々を間近で見る度、一刻でも早く復旧へと歩を進めなければと決意も新たに全力で任務にあたりました。

災害現場の最前線で、人の役に立つ仕事ができる。これが私の誇りであり、原動力です。






企画部防災課

大丸 歩

(平成22年度入省)



わたしの1日

- 08:15 ● 出勤
アパートからは自転車で15分ほど

- 08:30 ● 仕事開始
メールチェックとスケジュールを確認。何を優先するかを判断

- 10:00 ● 会議
各部の幹部を交えた会議。会議後は議事録を作成し資料を整理
- 12:00 ● 昼食
お昼は同期と一緒に食堂で食べる

- 14:00 ● 災害対応
局内で発生した小規模災害に対応。大規模災害時には災害対策室で対応にあたる
- 17:00 ● 対応終了
被害もなかったため災害の処理を完了。今後のために災害対応時の記録を整理
- 18:30 ● 退庁
アパートに帰り、夕食の準備

【入省を決めた理由】

中学3年生の頃に平成16年新潟・福島豪雨、新潟県中越地震を経験しました。この災害を機に、自分も災害に対して何かしていきたいと漠然に思ったときに、国土交通省の災害対応や災害に強いまちづくりなど様々な仕事を知り、入省を決めました。

【業務内容】

整備局全体の災害に関する業務です。発災時は収束まで災害対応にあたりますが、災害が発生していないときは、首都直下・南海トラフ地震などの支援検討、他機関との連携確認・課題検討、防災訓練など、いざという時にむけて様々な検討を行っています。

【仕事の魅力】

設計・工事とは異なり目に見えた結果はありませんが、発災時の対応をスムーズにするためや様々な検討を進めていくために、他分野・部署の職員や他官公庁や民間企業などの他機関との顔の見える関係を構築できるのは、恐らく防災課だけの魅力です。

【職場の雰囲気】

何か課題を検討するときには課全体や係で検討をしますが、とても発言・相談しやすい雰囲気です。自分の意見や考えを発言しても、皆さんにしっかりと聞いていただけます。分からないことも上司に相談しやすい雰囲気です。

わたしの必需品

【筆箱(筆記具)】学生時代からずっと使っている筆記具です。何かあったらすぐメモをとれるようにしています。

【土木用語事典】学生時代から使っている古いものと、比較的新しいものを使っています。まだまだ分からない専門用語があるので、すぐに調べられるようデスク脇に常備しています。



わたしの1週間

- 月 課内のミーティングで1ヶ月間の予定を確認
- 火 他部署の担当職員と検討方針について打合せ
- 水 木曜日の会議に向けて資料を作成・準備
- 木 会議の運営・説明・議事録作成など
- 金 休日の防災当番を確認
- 土 好きな登山や旅行、ゲームなどでリフレッシュ
- 日

